

健康都市やまと総合計画・前期基本計画 令和5年度 施策の進行管理 (令和4年度実績について)

成果を計る主な指標の令和4年度の実績値について、令和3年度の実績値からの推移（向上、低下、維持）の状況及び低下の主な理由を下表にまとめています。

男女別、学年別等、対象を分けている指標については対象ごとにカウントしています。

望ましい方向への推移は「向上」、それとは逆方向への推移は「低下」としています。

基本目標	指標数	実績値の推移の状況 (各推移の指標数)				低下の幅が比較的大きい指標に関する考察 (低下の主な理由)	
		向上	低下	維持	実績値 なし		
人の健康							
1	いつまでも 元気でいら れるまち	17	8	7	0	2	① 特定健康診査の受診率（32.4%→31.5%） ■ 「団塊の世代」の後期高齢者医療制度への移行や、社会保険への移行に伴い被保険者数が減少したため。 ② 自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数） （14.8人→19.7人） ■ 全国的に自殺死亡率が増加傾向にあり、本市においても増加傾向にあるため。 ③ がん患者受入数（延べ）（39,245人→34,581人） ■ コロナ禍における受診控え等の影響で受診者数全体が減少する傾向が令和4年度まで続いたことにより、受け入れたがん患者数の減少にもつながったため。
2	一人ひとり がささえの 手を実感で きるまち	11	6	2	1	2	① 介護サービス利用者の満足度の割合 （68.5%→67.7%） （令和2年度から4年度への実績の変化について） ■ コロナ禍において感染リスクへの考慮等により介護サービスの利用を控えた人もいたと思われるため。 ② 民生委員・児童委員充足率（96.0%→93.5%） ■ 令和4年度の民生委員の一斉改選において退任者が多く発生したため。 ■ 定年延長等に伴う現役就労者の増加等により退職者からの新たな委員の充足ができなかったため。
3	こどもがすく すく成長する 産み育てやす いまち	11	10	0	0	1	■ 低下した指標はなし。 （4か月児童健康診査の受診率、保育所等の待機児童数、放課後児童クラブの待機児童数等、5個の指標は最終目標値を達成している。）
4	未来に向か うこどもの 学びと歩み を支えるま ち	23	14	7	1	1	① 特別支援教育センターで扱った特別支援や発達に関する保護者や学校からの延べ相談件数 （211件→203件） ■ コロナ禍の影響で、通常とは異なる学校生活が続いたことにより、学校において相談が必要となる状況が増えなかったため。 ② 子どもの交通事故の市内発生件数（58件→66件） ■ コロナ禍における行動制限が緩和され、子どもたちの外出が増えたため。 ③ いじめ問題の解消率（中学生）（75.9%→63.8%） ■ いじめの行為が3か月間止まっていることがいじめ解消の条件のひとつであるところ、3学期に発生した事案が令和3年度よりも多く、年度内に当該期間が経過しなかった事案の増加につながったため。

基本目標		指標数	実績値の推移の状況 (各推移の指標数)				低下の幅が比較的大きい指標に関する考察 (低下の主な理由)
			向上	低下	維持	実績値 なし	
まちの健康							
5	安全で安心して暮らせるまち	22	14	5	1	2	① 防災協力農地数（累計）（11箇所→10箇所） ■ 登録者等の届出により、防災協力農地の登録が減少したため。 ② 消費生活相談の苦情件数のうち完結済みの割合（98.7%→98.2%） ■ 消費生活相談の内容の複雑化に伴い、同じ相談内容に対する対応回数が増加し、継続件数の増加につながったため。 ③ 消費生活センターの存在や役割について知っている市民の割合（85.9%→83.4%） ■ 令和4年度は障がい者支援施設や健康都市大学月イチ学園祭にて実施するなど、活動の幅を広げ、高齢者に比べて消費生活センターの認知度が低い若い世代への講義を実施したため。
6	環境にも人にも優しい快適な空間が整うまち	27	9	10	4	4	① リサイクル率（29.2%→29.0%） ■ 資源については、紙製容器包装・缶・ペットボトル・容器包装プラ等の各種容器包装の軽量化等によって発生量が減少しているが、ごみについては生活に基づく生ごみなど排出量が変わらないものが多いため、相対的に資源化量が減少したため。 ② 保全を図っている緑地面積（86.4ha→85.7ha） ■ 保全緑地と保存樹林について、緑地所有者の緑地の保全への考え方の違い、相続等に伴う契約や協定の解除があったため。 ③ 市民農園区画数（965区画→956区画） ■ 農園数は変わらないものの、日陰により利用できない区画のみ廃止したため。
社会の健康							
7	豊かな心と感動が広がるまち	15	10	3	0	2	① 市民1人あたりの年間図書貸出冊数（5.84冊→5.38冊） ■ 令和4年度はつきみ野学習センター図書室が休館していたため。 ② 歴史文化施設の利用者数（50,280人→42,607人） ■ コロナ禍における行動制限により令和3年度は身近な施設の利用が増えたが、令和4年度は制限の緩和により、行くことのできる他の外出先が増えたため。 ③ スポーツに関わるボランティア活動を経験したことがある市民割合（16.0%→11.2%） ■ 令和4年度には、コロナ禍による行動制限が緩和され、「する」「みる」スポーツの再開は認知されたが、「ささえる」スポーツへの参加に関する市民のモチベーションの回復が遅れているため。

基本目標		指標数	実績値の推移の状況 (各推移の指標数)				低下の幅が比較的大きい指標に関する考察 (低下の主な理由)
			向上	低下	維持	実績値 なし	
8	市民の活力 があふれる まち	24	12	6	0	6	① 勤労者サービスセンターの加入者数 (2,949人→2,864人) ■ 後継者不足による中小企業の事業所の減少や、高齢化に伴う就業者の減少のため。 ② フィルムコミッションで対応した撮影件数 (41件→36件) ■ 令和4年度のロケの申し込み数は216件だったが、ロケ希望施設の開設状況や、撮影時間帯が深夜に及ぶなどにより、受け入れ日程の調整がつかずに不調に終わった案件が比較的多くなったため。 ③ 自治会への加入世帯割合 (61.5%→58.5%) ■ 高齢化、核家族化、市民の意識変化により、自治会加入希望者が減少しているため。